

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 矢板東高附属中 開催結果

1	日時	令和3(2021)年7月5日(月) 午後1時30分～3時10分
2	場所	矢板東高等学校附属中学校 教室棟3階東雲ホール
3	出席者	参加者 3年生66名(男子27名、女子39名) 県側出席者：知事、教育長、高校教育課長
4	発言数	11件



主な発言事項

No.	発言事項	関係部局
1	県民の意見の吸い上げについて	県民生活部
2	栃木県の観光の発展について	産業労働観光部
3	栃木の自然を生かしたイベントについて	環境森林部 農政部
4	交通網の発展と安全について	県土整備部 警察本部 教育委員会
5	LRTの発展について	県土整備部
6	外国人の生活支援について	産業労働観光部
7	性の多様性とジェンダー平等について	県民生活部
8	Society5.0に伴うICT教育について	教育委員会
9	栃木県の子どもの体力向上について	教育委員会
10	これからの栃木県内のコロナ対策の方針について	保健福祉部
11	知事が中学生に望むこと	—

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 矢板東高附属中 発言及び回答要旨

区分	テーマ版	開催日	令和3(2021)年7月5日(月)		
No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
1	県民の意見の吸い上げについて	中学3年	私たちは1年生の頃「矢板市を発展させるためにどうすればよいか」を総合的な学習の時間に発表したときに、すぐに実行できそうな提案もあったと感じました。そこで、県民の意見が実際に地域づくりに活かされたことがあれば、どのように意見を取り入れ、どのように生かしたのかを教えていただきたいです。	<p>回答者：知事</p> <p>この元気フォーラム等を実施し、中高生や大学生、さまざまな専門分野の方々、さらに地域に出向いて幾つかのジャンルに分かれて意見交換をし、大切なご意見は事業に生かすという取り組みをしている。また、知事にアクセスでは、メール等で意見をお預かりしがすべて目を通して。主要な計画を策定する際には、パブリックコメント制度により県民の皆さんからの意見を伺い計画等に反映している。</p> <p>県総合運動公園敷地内のスケートボード利用スペースの設置、新型コロナウイルス感染症に関する情報公開(発生市町名の公表)、県民だよりの知事所感の掲載(「吹き竹」)、道路アンダーでの水位表示(冠水チェックライン)等、いただいた意見で素晴らしい提案は採用して実施しているので、みなさんも遠慮せず県に意見を届けて欲しい。</p>	県民生活部 広報課 (広聴担当) Tel.2158
2	栃木県の観光の発展について	中学3年	栃木県には、日光や那須、宇都宮などの観光資源が豊富だと思うのですが、他県や県内の人から魅力がないと言われがちです。知事は観光業の発展のためにどのような取り組みをしようと考えていますか。	<p>回答者：知事</p> <p>本県は、八方ヶ原もその一部に含む日光国立公園などの豊かな自然、日光の社寺や足利学校に代表される歴史文化施設に恵まれており、観光振興には「訪れたい」と思ってもらえる魅力ある観光地づくりとともに、認知度を高めるプロモーションが重要である。</p> <p>映画「鬼滅の刃『無限列車編』」の上映前CM(シネアド)に藤の花が有名な「あしかがフラワーパーク」を中心にした本県CMを放映する等、デジタルメディアを活用したプロモーションを展開したほか、最近ではドラマ「ドラゴン桜」におけるとちぎ海浜自然の家での撮影協力等、フィルムコミッション等も活用して取り組んでおり、本県について知ってもらい来てもらうことで観光振興に結びつけていきたい。</p>	観光交流課 (観光地づくり担当) Tel.3210 (観光プロモーション班) Tel.3305
3	栃木の自然を生かしたイベントについて	中学3年	栃木は豊かな自然に恵まれているので、私たちはその自然をもっと生かしたいと考えています。知事は栃木の自然を生かしたイベントについて、どのような考えをお持ちですか。	<p>回答者：知事</p> <p>本県は、日光国立公園やラムサール条約湿地である奥日光の湿原及び渡良瀬遊水地、身近な里山など豊かな自然環境に恵まれており、県内各所で、山の日など自然を生かしたイベントが行われている。これらは、人々の心を癒したり、地域の活性化にもつながるものと考えており、積極的に実施していきたい。</p> <p>農村地域の人々とのふれあいを楽しむグリーンツーリズムの情報をInstagram等で定期的に発信するとともに、美しい田園風景を維持するための活動に都市住民など地域外の人々にも関わってもらえるよう、参加を促す動画をYouTubeで配信している。なかかわ水遊園での自然を生かした様々なイベントも多くの方に体験してもらいたい。</p> <p>コロナの影響によりオンラインで地方で働くといった機運も盛り上がりつつある。自然豊かな栃木に住まいを構え、オンラインで仕事をして、余暇を楽しんでもらえるような取り組みを強化して参りたい。</p>	環境森林部 自然環境課 (自然公園担当) Tel.3211 農政部 農村振興課 (農村・中山間担当) Tel.2333

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
4	交通網の発展と安全について	中学3年	塩谷町の小林橋は道路整備計画に伴い設置されましたが、道路は35年たった今でも完成しておらず、橋を通る車で、狭い道路が劣化したり混雑し、人々を危険にさらす要因にもなっています。栃木県は「信号のない横断歩道で止まってくれる県ワースト1位」と道路での危険が多いと考えられます。栃木県では道路での安全について、どのような対策をしていますか。	<p>回答者：知事</p> <p>小林橋に至る県道今市氏家線の区間は、日光市小林地内と塩谷町風見地内を結ぶ新設道路として計画し、昭和59年に小林橋を完成させている。小林橋から東側約2.3kmについては、これまでに約2.1kmの用地を取得し、拡幅工事が概ね完了している。残る0.2kmについては、用地交渉を続けてきたが、残念ながら協力が得られないことから工事ができず約40年間通行不能となっているため、協力が得られない土地を避けた形で工事を行い、令和4年の開通を予定しているため、もう少しお待ちいただきたい。</p> <p>信号機のない横断歩道の一時停止率は、平成30年が全国ワーストで停止率0.9%だったが、令和2年は停止率14.2%で順位は36位と上昇したものの全国平均の21.3%にはまだ届いておらず、約8割以上の車が止まっていない。「止まってくれない栃木県からの脱却」といった呼びかけやスポットCMなど様々な広報啓発活動を行っている。また、令和3年4月16日施行の「交通の方法に関する教則の一部改正」で、「手上げ横断」が43年ぶりに復活したことから、広報啓発し交通安全教室等で指導していく。</p> <p>千葉県の八街市で痛ましい事件があったが、本県においても、引き続き、安全を確保するための通学路や児童の移動経路、身近な生活道路の整備を推進し、通学する児童生徒の安全の確保に万全を期していく。</p>	<p>県土整備部 道路整備課 (整備調査担当) Tel.2413</p> <p>教育委員会事務局 学校安全課 (学校安全担当) Tel.2964</p> <p>警察本部 交通企画課 (事故対策担当) Tel.3798</p>
5	LRTの発展について	中学3年	現在、栃木県ではバスや車、電車が移動手段として主流ですが、LRTができることにより、環境保全や渋滞緩和などが期待されていると思います。ただし、多くの方がLRTを利用してこそだと思います。利用者や駅、路線の拡大など、LRTを発展させる計画などがあれば教えてください。	<p>回答者：知事</p> <p>宇都宮市と芳賀町が整備しているLRT事業は、「新たな公共交通として、既存の鉄道やバスなどの公共交通と連携することで、より便利で広い範囲に及ぶ公共交通ネットワークをつくり、誰でも安全、安心、快適に移動することができるようになる。」という目標を掲げて進めている事業である。</p> <p>再来年の春開業予定で進めており、本物の車両が納入されて一般公開もしているので、機会があったらぜひ一度乗ってみてほしい。すべてユニバーサルデザインで、障害者や高齢者にとっても段差が一つもなく、自転車も載せるところもある。</p> <p>また、宇都宮市では、LRTをJR宇都宮駅から西側に延ばすことも計画しており、実現すれば、JR線、東武宇都宮線、バスも含めての乗り継ぎがしやすくなって、さらに公共交通ネットワークが充実し、便利な地域が増えていき、賑わいのある豊かなまちが広がっていくと思う。</p>	<p>県土整備部 交通政策課 (公共交通担当) Tel.2522</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
6	外国人の生活支援について	中学3年	コロナの状況が落ち着けば、今後さらに外国人居住者数が増加していくことが予想されます。もし私が他の国に住んでいたら、言葉の違いや文化の違いなどから、生活面で苦勞することがあると思います。栃木県では具体的に外国人と私たちが共生するために何か対策をとっているのでしょうか。	<p>回答者：知事</p> <p>県では、平成31年4月に「とちぎ外国人相談サポートセンター」を設置し、母国語による相談やきめ細かな情報提供を行うとともに、令和2年3月から「新型コロナウイルス相 hotline」を設置し、新型コロナウイルス感染症に関する外国人の不安の解消に努めている。</p> <p>また、外国人が医療機関を受診する際に必要となる情報等を記載した「医療情報ハンドブック」(9言語)や地震や台風等の災害発生に際し、外国人が迅速かつ円滑に行動できるよう「わたしの避難カード」(9言語)を作成し配布を行っている。</p> <p>県内で生活している外国人の方々が不便を来さず安全・安心に暮らせる環境づくりに取り組むとともに、引き続き、外国人の方々も生活しやすい共生社会を築いて参りたい。</p>	産業労働観光部 国際課 (地域国際化担当) Tel.2198
7	性の多様性とジェンダー平等について	中学3年	本校では、女子の制服にスラックスが導入されるなど、性の多様性についての意識が高まっていますが、県全体では性の多様性やジェンダー平等への理解や意識が足りないのではないかと思うことがあります。県で行っている政策や今後の取り組みの予定などがあれば教えてください。	<p>回答者：知事</p> <p>県では、誰もがいきいきと暮らせる「とちぎ」を目指して、性の多様性やジェンダー平等に関する取組を「とちぎ未来創造プラン」の重点的取組の一つに位置づけている。</p> <p>これまででも人権に対する理解を深めてもらうためのイベント「ヒューマンフェスタ」や性的マイノリティに関するリーフレットの作成・配布などを通して、県民への正しい理解促進に取り組んできた。</p> <p>今年度は、新たに性的マイノリティ電話相談の窓口を開設するなど、当事者の方々等の心情に寄り添った支援の充実に取り組んでいく。</p> <p>また、パートナーシップ制度については、全国の中でも早い取組として群馬県や茨城県が導入しているが、栃木県としては、まずは、一人ひとりに性の多様性について理解を深めていただくことが重要であると考えており、引き続き国の動向を注視するとともに県民の意識や市町の意向を踏まえ検討していく。</p>	県民生活部 人権・青少年男女参画課 (人権施策推進室) Tel.3027
8	Society5.0に伴うICT教育について	中学3年	Society5.0の実現に向けて、東京などの学校では、教科書ではなくICT端末を使っていることなどを聞いたことがあります。本校でも、総合的な学習の時間などにパソコンを使っているのですが、栃木県では、ICT機器をどのように使うことで学力を向上させることができると考えていますか。	<p>回答者：知事</p> <p>デジタル教材を使用し、各自の理解に合わせた「個別最適な学び」、電子黒板等を用いて個人の考えを整理し合う「協働的な学び」を充実させることによって学力向上が達成できると考える。生徒の皆さんには、与えられた条件の中で最大限勉強に励んでいただきたい。</p> <p>皆さんが機械やシステムを使っていく中で、システムや機械の不備等があればその意見を取り入れ、順次修正や入れ替えを行い、生徒一人一人の学力向上につながるICT教育に結びつけていきたい。</p> <p>回答者：教育長</p> <p>ICTの強みは、学習の進捗状況に応じた対応が出来ることやインターネットの活用によって幅広い分野を学ぶことが出来ることである。</p> <p>教育という面において、生徒の皆さんに充実した授業が出来るよう、教員に対してもICTの研修等をしっかり行っていきたい。</p>	教育委員会事務局 総務課 (ICT教育推進担当) Tel.3571

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
9	栃木県の子どもの体力向上について	中学3年	栃木県の体力テストの結果は、小中学校で男女ともに全国の平均値を下回っています。また、ハンドボール投げでは全国ワースト1位になったこともあります。このような結果を受けて、今後、栃木県の子どもの健康と体力の向上のために何か対策などは考えていますか。	<p>回答者：知事 とちぎ子どもたちの体力向上を図るため、今年度から新たに「とちぎっ子体力ジャンプアッププロジェクト事業」をスタートした。具体的には、WEBサイト「とちぎっ子体力雷ジグひろば」を開設し、体力向上に関する関心や意欲を高め、体育授業の充実や運動遊びの時間の増加等につなげていく。</p> <p>回答者：教育長 令和元年度の新体力テストの全国調査の結果を受け幾つかの事業を立ち上げた。WEBサイト「とちぎっ子体力雷ジグひろば」は10月に完成予定で、長縄跳び等いろんな運動遊びをランキング化して競いあう中で、体力をアップしていただいたり、身体を動かしてもらうためにいろんなメニューを作っていく。</p> <p>また、退職した体育の先生等を小学校へ派遣し、体育の授業で、投げる、飛ぶ、走るといった基礎的運動がどうやったら上手くいくかを子どもたちにしっかりと指導していく。</p> <p>さらに、小学4年生とその保護者等を対象に、体を動かすことの楽しさを感じてもらえるようなプログラムを提供し、運動好きな子どもたちの増加につなげていく。</p> <p>皆さんには、とにかく早く歩くといったことでもいいので、日頃から運動に取り組んでほしい。</p>	教育委員会事務局 スポーツ振興課 (生涯スポーツ担当) Tel3416
10	これからの栃木県内のコロナ対策の方針について	中学3年	先日、下野新聞で「コロナワクチン接種率最下位」という記事を見ました。新規感染者数がなかなか減らない中、ワクチン接種が広がれば、新規感染者数が減少する可能性があると思います。これからワクチン接種率の向上に向けて、どのような取り組みを行っていく予定ですか。	<p>回答者：知事 県では、国から必要な量のワクチンが供給されることを前提として、ワクチン接種を希望する65歳以上の方には7月中、64歳以下で12歳以上の方は11月中旬に接種を完了させるという目標を掲げて取り組んでいく。</p> <p>接種率については、接種が完了しているのに、その実績がデータとして報告されていないという状況が長く続いて、結果的に最下位になってしまったが、今は少しずつ改善されてきていて、現在42位という状況である。</p> <p>引き続き、「とちぎワクチン接種センター」により市町の接種体制を補完するとともに、国、市町と連携を図り、接種を希望する県民の11月末までの接種完了に向けて取り組んでいく。</p>	保健福祉部 感染症対策課 (ワクチン接種推進班) Tel3077

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
11	知事が中学生に望むこと	中学3年	<p>栃木の発展に向けて、中学生にできることは何か私たちは考えています。しかし、私たちが参加できる行事や、学生にできることの範囲は限られていると思います。そこで、学生がどのような行動をおこしてほしいか、どのように行事に参加してほしいかなど、知事のお考えを教えてください。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>得意不得意があっても勉強、部活動を一生懸命頑張ること、友達をたくさん作ることが1番。2つ目は、ニュースに関心を持つ、そして新聞とスマホニュースには違いがあるため両方を見て、世界、日本、栃木県、自分たちの生活している矢板市を、毎日毎日チェックしていく必要がある。</p> <p>さらに、実際にやってみて初めていろいろなことがわかるため、皆さんが住んでいる地域で、育成会など地域の活動に参加したり、家のことを手伝って様々なことを学んで欲しい。その上で、自分が将来何をしたいのかわかってくることもある。</p> <p>人生100年時代の今、自分の目標が途中で変わっても、次の目標を達成するためには、もう一度学び直す努力をして、次の道へスタートを切り、充実した人生を送ってほしい。そのためには、今、中学3年生の毎日毎日を大切に使う、自分の将来に備えてもらいたい。</p> <p>一言で言えば、何事も一生懸命やるということに尽きると思う。</p>	—

※関係課名(担当)欄のId番号は、栃木県庁028-623-各課共通(4ケタ番号)を記載しています。